

令和7年度 第6回中津川市総合計画審議会 議事要旨

I 開催日時

令和7年（2025年）10月23日（木） 16:00～16:40

II 開催場所

中津川市役所 4階 大会議室

III 委員名簿 17名 欠席4名

IV 次第

1 開 会

2 報告

(1) 第5回中津川市総合計画審議会における意見とその対応について

【資料1】

(2) 次期中津川市総合計画基本構想及び基本計画の素案に対する市民意見と
その対応について

【資料2】

3 議事

(1) 中津川市総合計画基本構想及び基本計画答申（案）について 【資料3】

4 答申

5 閉会

V 議事要旨

<開会>

- 令和7年度第6回中津川市総合計画審議会を開会

<資料確認>

- 事務局より資料確認

<会長あいさつ>

- 会長よりあいさつ

<報告>

会長

- 事務局から報告をお願いしたい。

(1) 第5回中津川市総合計画審議会における意見とその対応について

(2) 次期中津川市総合計画基本構想及び基本計画の素案に対する市民意見とその対応に
ついて

(事務局から説明)

会長

- ご質問、ご意見等はあるか。
(質疑なし)

<議事>

(1) 中津川市総合計画基本構想及び基本計画答申（案）について
(事務局から説明)

＜答申＞

会長

- ・答申の案を本審議会の答申とすることについて、賛成の方は拍手をお願いしたい。

～拍手～

- ・賛成多数と認め、中津川市総合計画基本構想及び基本計画答申（案）について本審議会の答申とさせていただく。以上で審議すべき議事は全て終了した。

～市長入室、会長より答申、市長挨拶～

市長

- ・長きにわたり闇達なご意見をいただき感謝申し上げる。
- ・第1回目の時に総合計画は最上位に位置づけられる計画であり、中長期的なまちづくりの指針になるという話をさせていただいた。
- ・それぞれの立場で出席する中で、会の代表としてご意見いただきたいとお話させていただいた。
- ・当初5回の会議予定から1回増えてご苦労をかけた。改めて感謝申し上げる。
- ・いただいた様々な意見を令和9年度からスタートする次期総合計画にしっかりと入れ込んでいきたい。
- ・民間企業で働いてきて、今、市役所で働く中で、行政機関の計画として、20年30年先のいわゆる夢を語るような、そういうビジョン的なものが行政として立てづらいように思いつつ仕事をしているなかで、次期総合計画の将来都市像を「WONDERFUL WOODs」として、別冊としてこれからの中津川市、こんなまちになったらいいという夢を描いたコンセプトブックを作成させていただいた。
- ・ワクワクするまちというところ、これを是非市民の皆さんにも感じていただきながら、夢を持って市民の皆さんとこのまちを作り上げていくことがこれからの中津川市にとってとても重要だと思っている。
- ・中津川市はリニアの開業を控え、しっかりとそれを活用しながら、今の子供たち孫たちのためにも先を見た夢のあるまちづくりをしていかなくてはいけない。
- ・その第1歩として、この次期総合計画がある。皆さんから答申いただいたことがゴールではないので、これをしっかりと落とし込みながら、これから始まる府内での議論にも生かしていきたい。
- ・皆さんには、引き続きいろいろな立場でご意見をいただいて、これからの中津川市の方向性を示すこの次期総合計画の実施に向けて、引き続きお力添えをいただきたい。

事務局

- ・本日で中津川市総合計画審議会は最終回となるので、委員を代表して会長・副会長より一言ずつご挨拶を頂戴したい。

副会長

- ・計6回の長きにわたり多角的、専門的な視点から真摯にそして熱意を持って議論を重ねていただいた。
- ・この計画が行政運営の指針となり、市民にとって希望が持てるものになることを願っている。
- ・新たにこの計画の実行について、多くの政策、その事業実施には当然、進捗管理や評価検証がとても重要な取り組みになると思うので、何かの機会があればその後の状況を共有いただけだと非常に嬉しい。

副会長

- ・まだまだ議論が足りない部分があったかと思うが、行政では類を見ない「WONDERFUL

WOODs」というネーミングを計画に入れ、答申を出せたということが、行政も変わっていくという期待感が持てた。

・これをしっかりと、もう一度噛み砕いて、市長を先頭に計画を実現できるように頑張ってもらいたい。

・私たち民間からも惜しみなく協力していきたい。

会長

・委員の皆さんのおかげでいい答申ができたことを感謝したい。

・全体として委員の皆さんがこの中津川市をもっと良くしたい、全体としてもっといい市にしていくにはどうしたらしいのかというのを本当に真剣に考えていただけた。

・これからが本番で、この皆さんの思いを具体的に、どのように市の中で計画を立てて実施していくのかが重要である。私たち市民も期待するだけではなく、一緒にやっていくことが大切だと思うので、そういう仕組みを整えていただければとてもありがたい。

・私は中津川市民であり、大学の教員の2つの立場でこの総合計画に携わらせていただいた。大変残念だが大学が令和9年から移転という形になっている。

・この総合計画を実施計画まで落とし込んでいただき、大学がいつか戻ってきてほしいと思えるような中津川市になってくれることを期待している。

・市民としては、変わらずこの地の中で自分たちの子供たちがしっかり成長していく中津川市になると期待しているので、この答申を実施計画まで大変だとは思うが進めていただきたい。

<閉会>

・令和7年度第6回中津川市総合計画審議会を閉会

以上